

服部長七と人造石工法

産業近代化の基礎づくりを担った土木技術

2020年7月19日(日) 午後1時～5時

関連行事 人造石工法 施工例見学会

同日 午前10時～11時30分(予定)

人造石づくり実演・体験会

同日 午前10時～11時30分(予定)

シンポジウム会場 碧南市立 大浜公民館

愛知県碧南市中町1丁目53番地

電話：(0566) 42-1182

公共交通機関をご利用の場合

名鉄三河線「碧南駅」下車、
碧南駅前通りを西へ徒歩5分

お車をご利用の場合

碧南市臨海公園駐車場(無料)に
駐車してください。

- ・知多半島道路「半田IC」から、
衣浦トンネル経由、約10km。
- ・国道23号「西中IC」から、
約15km。



お問い合わせ

- ・中部産業遺産研究会 WEBサイト <http://csih.sakura.ne.jp/>
- ・「日本の技術史をみる眼」開催案内 <http://csih.sakura.ne.jp/nitigi.html>
- ・シンポジウム実行委員会事務局 E-mail kenhatta@hm4.aitai.ne.jp
(八田 健一郎)

主催：  中部産業遺産研究会

後援：愛知県教育委員会・名古屋市教育局・碧南市教育委員会・産業遺産学会・日本産業技術史学会
一般社団法人日本機械学会・公益社団法人土木学会中部支部・一般社団法人中部産業連盟
公益財団法人中部圏社会経済研究所・一般社団法人中部経済連合会・公益社団法人日本技術士会中部本部
名古屋工業大学ごきそ技術士会

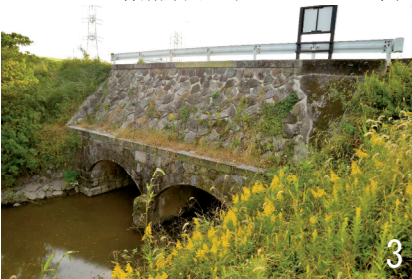


1



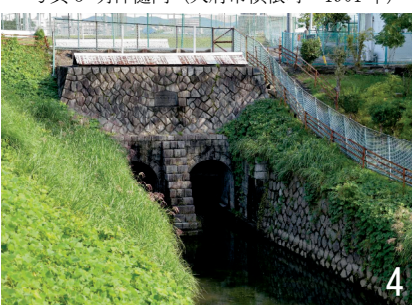
2

写真1・2 前浜新田護岸
(碧南市川口町・1901～1902年)



3

写真3 明神樋門 (大府市横根町・1901年)



4

写真4 庄内用水元杓樋
(名古屋市守山区瀬古・1910年)

日本の近代土木工事普及の過渡期となる明治時代に、「長七たたき」とも呼ばれた人造石工法が全国の新田開発や築港の土木工事で盛んに用いられました。愛知県では明治30年代初めにこの工法に県費補助がつき、県内各地の干拓堤防・護岸・樋管、名古屋築港での突堤・護岸に施工され、農業や物流など産業近代化の基礎づくりに大きく貢献してきました。2019年はこの工法を開発、施工した碧南市出身の服部長七の没後100年に当たり、環境に優しい人造石工法を今一度見直すとともに、服部長七の人となりにも光を当てます。



服部長七 (1840～1919)
碧海郡棚尾村(現・碧南市)で誕生
(岩津天満宮蔵)

<p>プログラム</p> <p>13:00 開会 (12:00よりシンポジウム受付開始)</p> <p>13:10～</p> <p>15:15～</p> <p>17:00 閉会</p> <p>17:30～19:00</p>	<p>開会 (12:00よりシンポジウム受付開始)</p> <p>講演「土木史分野から見た人造石研究への期待」</p> <p>講師 北河 大次郎 (文化庁文化資源活用課文化財調査官、オンライン土木博物館「ドボ博」館長)</p> <p>講演「服部長七没後100年にあたり歴史的土木工法(人造石工法)に再び光を」</p> <p>講師 天野 武弘 (会員、愛知大学中部地方産業研究所研究員)</p> <p>質疑応答・パネル討議 会場からの意見交換 テーマ「長七たたきの再発見」</p> <p>コーディネーター 天野 武弘 パネリスト 大橋 公雄(会員)、北河 大次郎 前浪 洋輝(株式会社LIXIL LIXIL WATER TECHNOLOGY JAPAN 主任研究員) 豆田 誠路(碧南市教育委員会文化財課係長(学芸員))</p> <p>懇親会 (事前申込者のみ) 会場:大正館(碧南駅前)</p>
--	--

参加費 (講演報告資料集の代金を含む)

- シンポジウム 一般 1,500円 (定員60名)
 - ・中部産業遺産研究会員・後援団体関係者 1,000円
 - ・学生で資料を必要としない場合 無料 (資料が必要な場合は500円) ※学生証をご提示ください。
- 懇親会 5,000円 (定員30名)

関連行事 人造石工法 施工例見学会・人造石づくり実演・体験会 「人造石工法 施工例見学会」・「人造石づくり実演・体験会」は一方のみの参加となります。

◆「人造石工法 施工例見学会」(定員30名・当会募集枠)

シンポジウム当日 午前10時～11時30分(予定)

- ・見学地:碧南市川口町・「前浜新田堤防護岸」
*最近、人造石工法での構築が確認された遺構です。
- ・集合時間:午前10時
- ・集合場所:碧南市臨海公園駐車場のバス駐車枠
受付後、見学地までマイクロバスで移動します。
- ・参加費:無料

シンポジウムおよび関連行事への参加は、事前申し込みが必要です。申し込みは先着順とし、定員になり次第、申し込み受付を終了します。

◆「人造石づくり実演・体験会」(定員24名)

シンポジウム当日 午前10時～11時30分(予定)

- ・会場:大浜公民館一階研修室
人造石づくりを当会会員が実演し、参加者の方にもご体験いただきます。
*体験でつくった人造石を型と一緒に持ち帰りいただけます。
(大きさ10cm×10cm×5cm程度が入る袋も当会が用意します。)
- ・参加費:500円(材料資材実費)
*参加費は当日の実演・体験会受付時に徴収いたします。
- ・服装などの注意点:消石灰・土・水を扱いますので、前掛けをご用意されるなど汚れても良い服装でご参加ください。
- ・体験に必要な資材や用具(型枠・消石灰・土・水、ビニール手袋)は、主催者側で用意します。

お申し込み

中部産業遺産研究会 WEBサイトの申し込みフォーム <http://csih.sakura.ne.jp/nitigi.html> よりお申し込みください。

- *シンポ参加費・懇親会費は、お申し込み後、お振り込みをお願いします。(当日支払いも可能)
- *関連行事の参加費は当日にお支払いください。

※振込先【郵便振替】

口座番号:00880-2-83831
口座名称:シンポジウム「日本の技術史をみる眼」
*個人での振込は申込者の名前をお願いします。

※申し込みは、郵送でも受け付けています。

＜郵送でのお申し込み先＞

〒470-0213 愛知県みよし市打越町九蔵釜 93 加藤 真司 宛

*申し込みハガキには、下記内容を記載してください。(※は必須)

- ①氏名・フリガナ* ②区分* 一般・中部産業遺産研究会会員・後援団体関係者・学生 ③所属 (学生の場合は学校名)
- ④メールアドレスまたは電話番号* ⑤関連行事への参加* 「人造石工法施工例見学会」への参加・「人造石づくり実演・体験会」への参加・関連行事への不参加 ⑥「懇親会」への参加・不参加*
- ・「CPD 行事参加票」の必要な方はその旨をご記載ください。